

跡遺通蔵三豎

— 第13次調査の概要 —



1997

名古屋市教育委員会

例 言

- 1 本書は、名古屋市中区栄一丁目に所在する^{なご}三蔵通遺跡第13次発掘調査の概要報告書である。
- 2 調査地点は、名古屋市中区栄一丁目30番のスポーツ施設建設予定地内である。
- 3 発掘調査は、約500㎡を対象に、平成9年1月13日から同年2月28日までの間行われた。
- 4 発掘調査にあたっては、名古屋市教育委員会スポーツ振興課、同文化財課の間で調整し、名古屋市見晴台考古資料館(服部哲也、水野裕之)が担当した。また、同館の田原和美と奈良大学学生佐藤美穂から補助を得た。
- 5 発掘調査および資料の整理に際し、下記の方々からご教示、ご協力を頂いた。記して謝意を表する。(順不同)
榎崎彰一(名古屋大学名誉教授) 柴垣勇夫(愛知県陶磁資料館) 赤羽一郎(愛知県教育委員会) 千田嘉博(国立歴史民俗博物館) 金子健一(瀬戸市埋蔵文化財センター) 名古屋市立栄小学校 名古屋市立栄幼稚園 洲崎神社
- 6 調査の記録、出土遺物は、名古屋市見晴台考古資料館が保管している。
- 7 本書の編集、執筆は水野が行った。



図1 三蔵通遺跡の範囲
(2.5万分の1国土地理院地形図より作成)

目 次

- I 遺跡の概要
- II 調査の概要
 - 1 調査の経過
 - 2 基本層序
 - 3 遺構と遺物
- III 小結
(表紙カラー写真)
S K 29出土陶磁器

I 遺跡の概要

遺跡は、名古屋市の都心部に近く、標高9mほどの台地上に立地する東西約400m、南北約250mの範囲に及ぶと推定されている。

これまで、12地点で発掘調査が行われた結果、数箇所の地点で名古屋では数少ない旧石器時代から縄文時代草創期の石器や、早期、中期などの土器が検出された。また、弥生時代後期の土器が遺跡南側で検出されたほか、古墳時代～奈良時代ころの住居跡などの遺構、遺物は、遺跡の広い範囲にひろがっているようである。

II 調査の概要

1 調査の経過

調査地点は民間病院の跡地であり、更地となっている約2700㎡の敷地のうちの約500㎡である。調査は、平成9年1月21日から2月13日までの間、遺構検出、掘削作業等を行い空中写真測量を経て2月22日に現地説明会を行った。

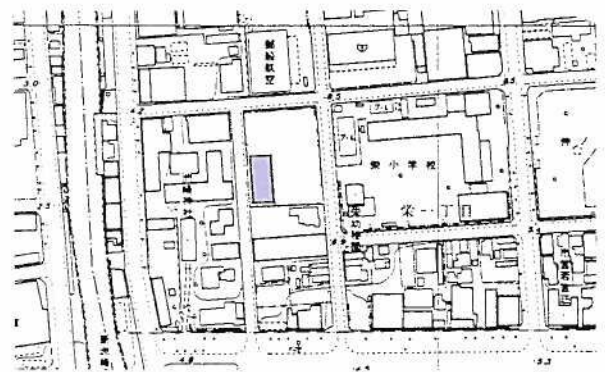


図2 調査地点の位置(5千分の1)
(名古屋都市計画基本図より作成)

2 基本層序

土層の堆積状況は、調査区の北壁面が良好であった。その基本土層は、図示のとおりである。

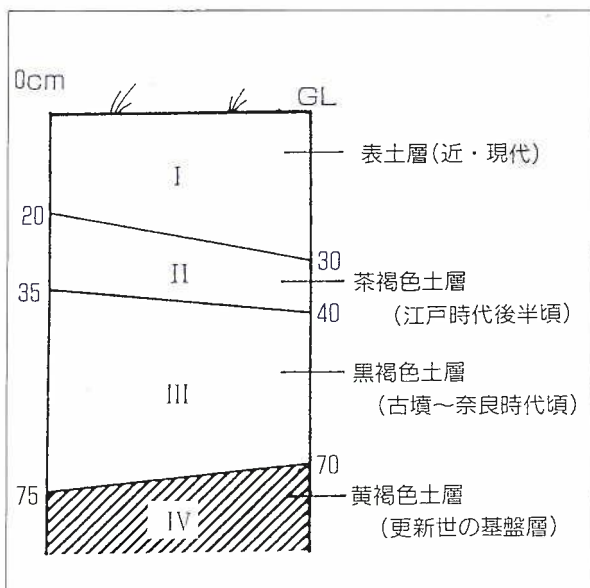


図3 土層模式図

3 遺構と遺物

今回の調査地点では、土坑など (SK) 47基、溝状遺構 (SD) 8条、柱穴など (Pit) 315基を調査時において検出した。遺構の時期は、大きく三つの時期に分れる。

①古墳~奈良時代

竪穴住居の一部と思われる部分が、調査区の東側中央部や北東部などで検出されたが、明確に形状が判断できていない。土坑では、SK38から猿投窯編年岩崎17号窯期の須恵器が、ややまとまって出土した。

②戦国時代

戦国時代の末頃に埋ったと思われる大溝 (SD01) が検出されたが、遺物は極わずかであった。

③江戸時代

遺構、遺物とも最も豊富に検出された。廃棄物処理の土坑 (SK07、26、29など) や穴蔵 (地下室) と思われる土坑 (SK03など) の他、南北方向の直線の溝 (SD05) からは、17世紀前半の陶磁器が出土した。



写真1 調査地点とその周辺 (南から)



写真2 調査区遺構写真 (上が北)



SK03



SK03 (深部) の工具痕



SK03 (深部) 出土



SK07出土



SK13

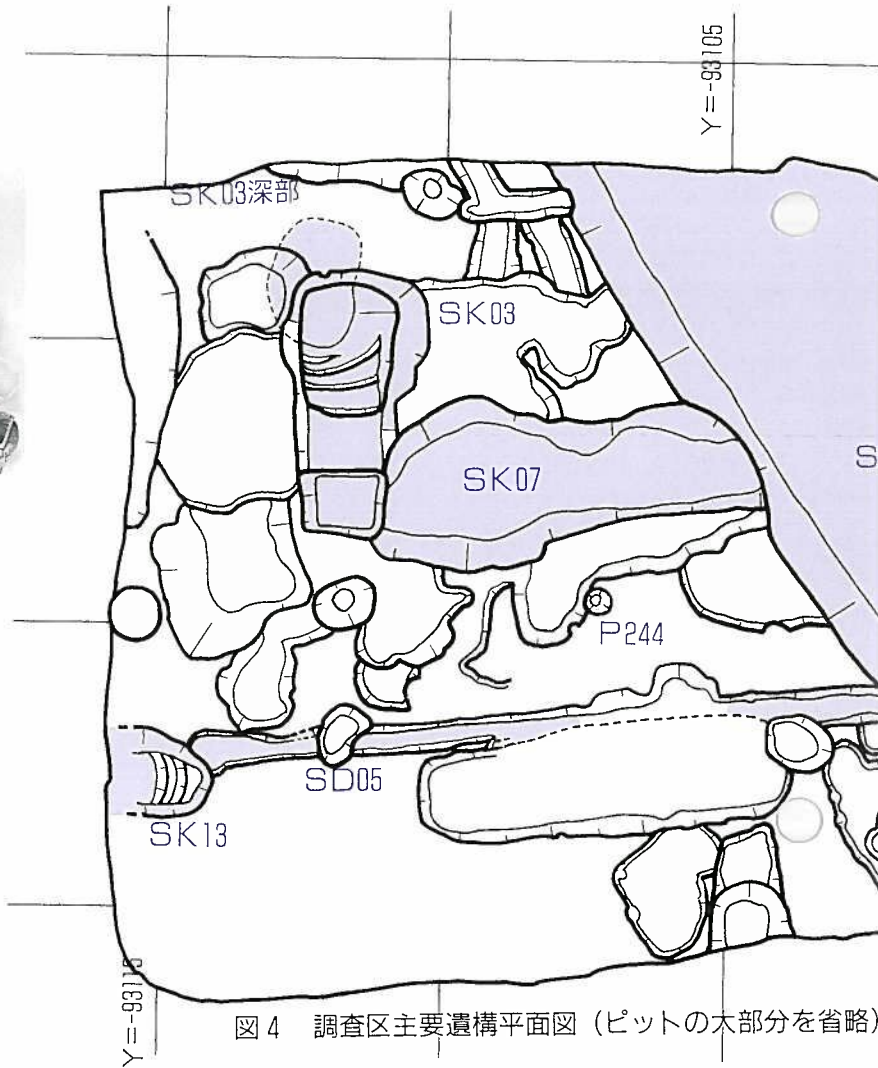
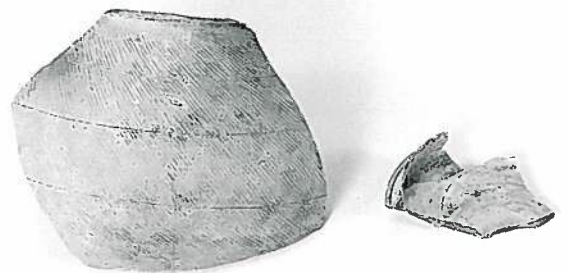


図4 調査区主要遺構平面図 (ピットの大部分を省略)



SD05出土



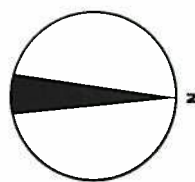
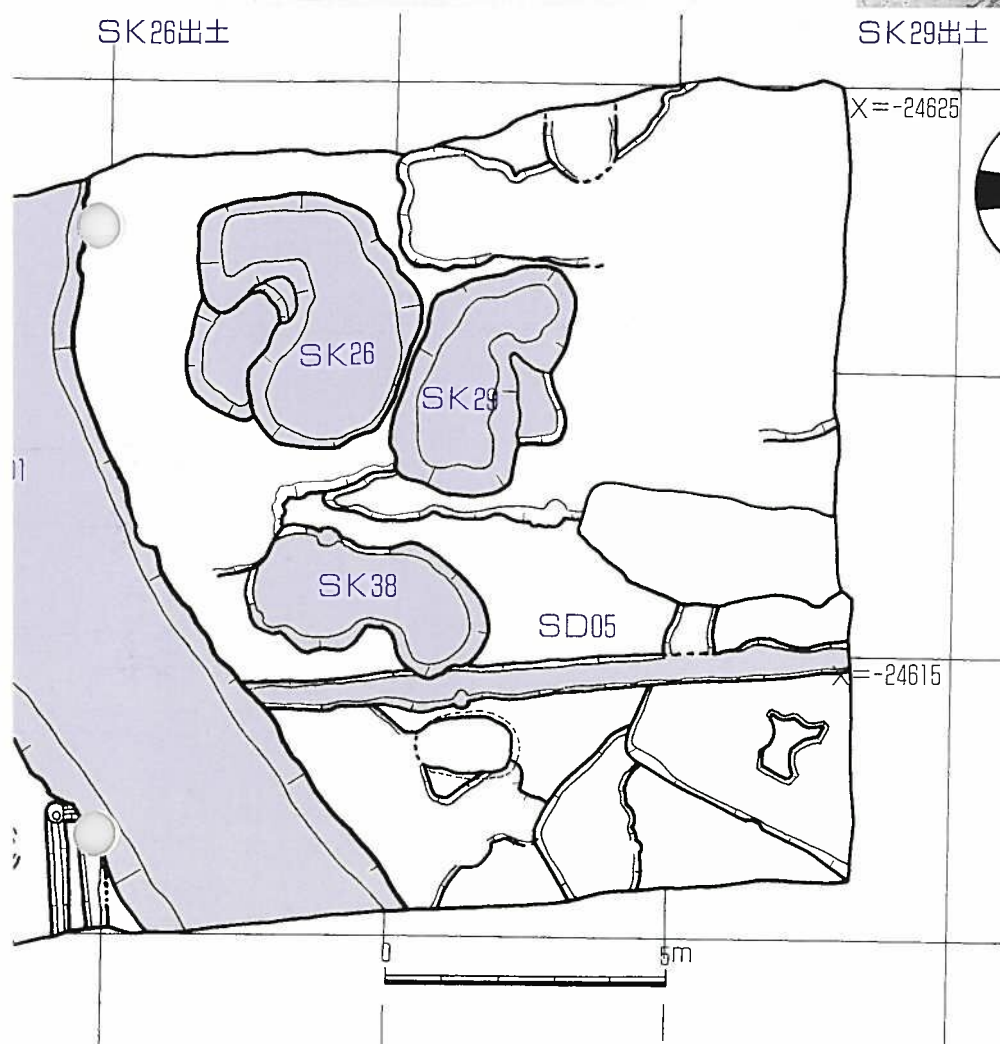
P244出土



SK26出土



SK29出土 (「慶山」「春岱」銘) (註1)



SD05埋土断面



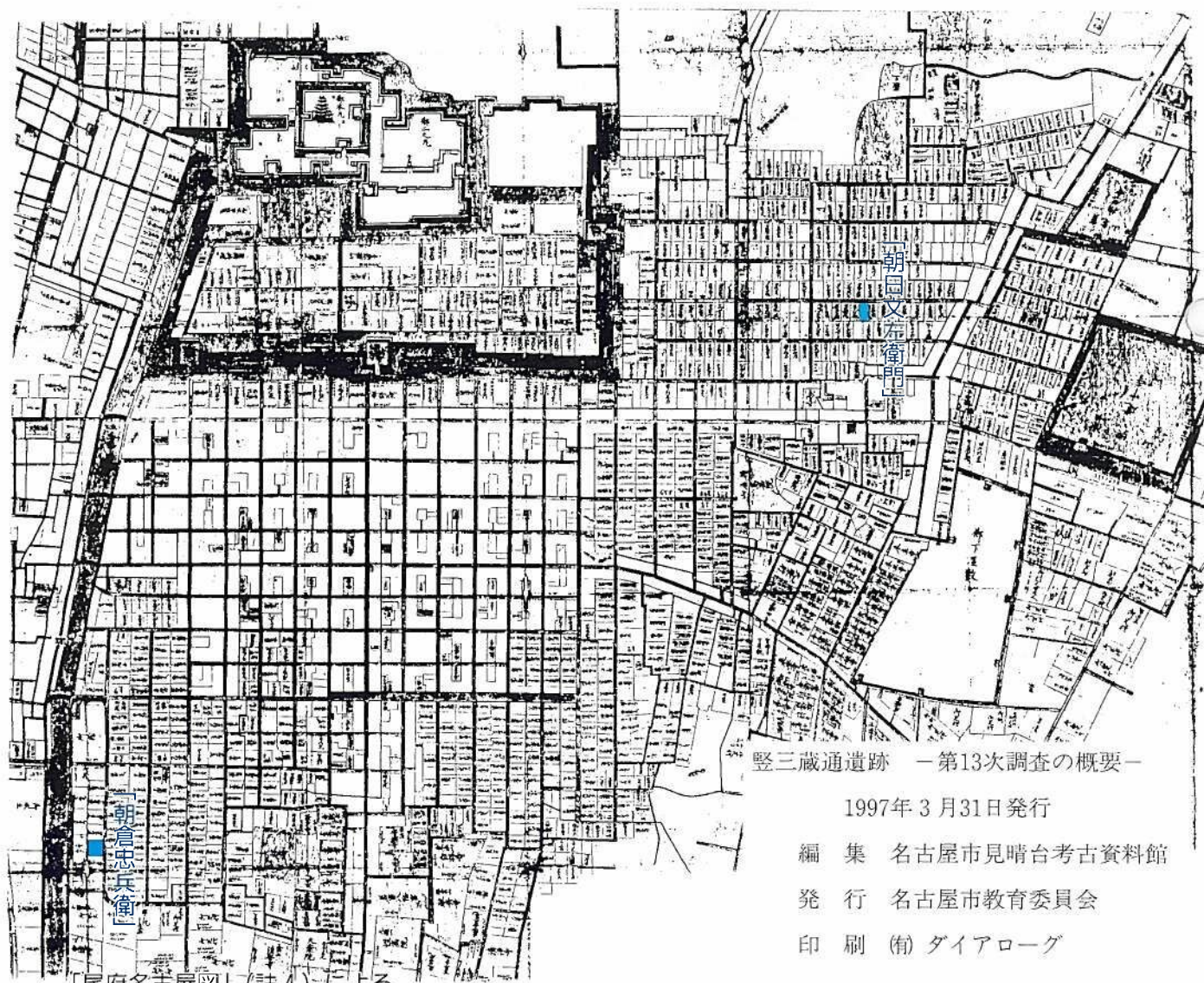
SD01埋土断面



SK38出土

報告書抄録

ふりがな	たてみつくらどうりいせき だい13じちょうさのがいよう							
書名	竪三蔵通遺跡 ー第13次調査の概要ー							
編集者名	水野裕之							
編集機関	名古屋市見晴台考古資料館							
所在地	〒457 愛知県名古屋市南区見晴町47 Tel 052-823-3200							
発行年月日	西暦1997年3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 '''	東経 '''	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
たてみつくら どうりいせき	あいちけん なごやし なかぐさ まち なごや し なかぐさ まち なごや し なかぐさ まち なごや し なかぐさ まち	23100	7-4	35度 9分 40秒	136度 53分 50秒	1997 113~228	500	スポーツ施設建設に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
竪三蔵通遺跡	集落跡	古墳~奈良時代 戦国時代 江戸時代	土坑、柱穴 溝、土坑、地下室	須恵器、土師器 陶器 近世陶磁器類				



竪三蔵通遺跡 ー第13次調査の概要ー

1997年3月31日発行

編集 名古屋市見晴台考古資料館

発行 名古屋市教育委員会

印刷 (株) ダイアローグ

〔尾府名古屋図〕(註4)による